



ひ ゆ ー ま ん ら い つ

第56号 平成17(2005)年7月

かけがえのないいのちを育む ～ 子どもたちの人権 ～

7月19日、市民向け学習講座第2回「誰でも人権談話室」を、聖園（みその）天使園園長 山田友子さんを講師にお迎えし開催しました。

山田さんのお話から…

目を閉じて、「いのち」ということばの響きをこころの中で味わってみましょう。今日もまた、世界のどこかで、そして私たちの身近なところで多くのいのちが産声をあげています。母親の腕の中に包まれて、すやすやと安らぐ小さないのち…このいのちの尊さと神秘に、人はみな理屈なしに共感し合います。

乳児院、児童養護施設に入ってくる子どもたちの誕生は、必ずしも望まれ、待たれてこの世に生を受けてきたものではありません。2週間ほど前、ひとりの母親から「ぜひお話したいことがある」と電話がありました。音信が途絶えていたので、その日を心待ちにしていました。すると、「育ててくれる人がいたら、養子に出してください」とのことでした。子どもには愛情が湧かない、自分は子どもの父親にあたる人との関係を失いたくなかったので産んだだけ…と。聞いていて身震いするほど悲しい気持ちになりました。今は元気にかわいく成長している我が子に会えば、心動いてくれるのではないか、このままで親子の絆を終わらせてはならないと切に思いました。今後は、母と子が絆を結んでいく道のりを支援できるよう関わっていきたいと思います。

現在、天使園には75人の子どもたちが入所しています。そのうち約半数が、乳児の時から母親と離れて生活しています。母親の生活改善等で、小学校入学を機に退所する子どももいます。しかし一方で、母親の再婚により異父弟妹ができ、居場所を失っている子どもたちが心の寂しさを抱えて生きていかなければならないという辛い現実もあります。

天使園では、そういった子どもたち一人一人の心に寄り添い、一つ一つの段階を乗り越えて、いつか子どもたちがしっかりと自立していけるよう取組んでおられます。激しく変化する社会の影で、私たちの身近でも子どもの人権が脅かされている現実があることを知ると同時に、私たち大人が子どもたちのかけがえのないいのちを抱きしめ育んでいくことの大切さを、改めて痛感しました。

第3回

「誰でも人権談話室」は… 8月9日(火) 19:00～21:00

「出逢いを大切に…みんなで考えよう同和問題」
山田二郎さん（部落解放同盟米子市協議会）
坂田かおりさん（米子市人権政策課生活相談員）
をお迎えして開催します。



みんなの願い 差別のない社会 人権尊重の社会

部落解放月間

1969年7月10日「同和対策事業特別措置法」が施行されたことを記念し、翌1970年、鳥取県は7月10日から8月9日を「部落解放月間」と決めました。

この間、県をはじめ県内各市町村では、部落差別解消に向けたさまざまな取り組みが行われます。この機会に、皆さんでご参加ください。



夏休み子ども人権講座

日時 8月2日(火)～5日(金) 9:00～11:30 (第2回のみ 12:00)

場所 米子市人権情報センター

月日	テーマ	ゲスト	対象
第1回(8/2)	被差別と食文化	福原潤一さん(大山町立庄内小学校)	中学生
第2回(8/3)	バリアフリーを見つけよう	森口誠さん(米子市社会福祉協議会) 足村美奈子さん(介護実習普及センター) 岩田甘奈さん(介護実習普及センター)	小学校6年生 中学生
第3回(8/4)	フィリピンのお母さんと話をしよう	長谷川ロウエナさん 佐藤クリスティーナさん	小学校6年生 中学生
第4回(8/5)	平和について考えよう	朱遠萌さん(米子市国際交流員) 李秀美さん(米子市国際交流員)	小学校6年生



第30回部落解放鳥取県研究集会

テーマ「差別の現実に深く学び、人権確立のために進んで実践しよう」～部落解放研究・実践の歩みを生かし、部落差別の撤廃と人権条例の具現化に向けて行動しよう～

● 8月23日(火) 全体会(倉吉体育文化会館)

10:00～12:00 基調提案

特別報告「太鼓を通して見えてくるの」

大柄重人さん(奥日野源流太鼓主宰)

13:00～16:00 講演「弱い立場・小さい存在」

片山善博さん(鳥取県知事)

公演「一人芝居『学校』」

福永宅司さん(福岡子どもの学び館 子育て支援研究所主宰)

● 8月24日(水) 分科会(新日本海新聞社中部本社ほか11会場)

9:30～

被爆60周年事業平和講演会

昭和20年8月に広島、長崎に原爆が投下されてから今年で60年を迎えます。

米子市では、毎年8月を「平和月間」と定め、様々な行事を開催しています。広島、長崎の悲劇を絶対に繰り返さぬよう平和への思いを新たに、核戦争、核兵器の廃絶を訴えていきます。

● 講演

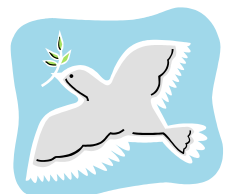
8月1日(月) 14:00～16:00(米子市文化ホール)

《講師》 廣田マツ子さん(広島市西区在住 88歳)

28歳の時、爆心地から2.1km離れた姉の美容室で仕事をしていた時に被爆。当時、廣田さんは夫と長男の3人家族。幸いにして3人とも外傷はなかったが、夫は原爆症により58歳で他界。平成11年から「被爆体験証言者」として活動し、現在に至る。

● パネル展「原爆と人間展」 (米子市文化ホールホワイエ)

(お問合せ先) 米子市総務課
Tel (23)5331



米子市人権情報センター(人権政策課内)

URL: <http://yonago-city.jp/jinken/>

米子市東町161-2 Tel 0859-37-3183 Fax 0859-37-3184

* お詫び

「今月の本棚」は、お休みさせていただきました。